

定住促進について

代表質問



政友会第一
高崎 和夫 議員

改正公選法について

質問…若者が定住する魅力あるまちについて伺いたい。

答弁…定住移住に向けたPRについては、主に子育て支援が充実した大田原市の魅力発信に努めています。東京都内で開催した移住定住セミナーにおいても、子ども未来館をはじめとした子育て施設の充実や小中学校給食費の無料化、保育料第3子以降全額免除など子育てに優しい魅

力ある大田原市をPRしています。またセミナーでは、大田原市に移住した30代の市民にご協力をいただき、子育て環境など若者にとって魅力ある情報を体験談として語っていただきました。移住定住に向けた首都圏等へのPR活動については、まだスタートしたばかりですが、引き続き若者が定住できる魅力ある大田原市をPRしていく考え

です。
質問…本市に移住した30代の市民の体験談はどのような話をしたのか伺いたい。

答弁…いかに大田原市が自然に恵まれ子育てしやすい環境であるか、また様々な子育てに対する施策を行い子育てしやすい地域であることについて、十分に魅力を発表していただきました。

質問…移動式期日前投票所について伺いたい。

答弁…移動式期日前投票所は、島根県浜田市で実施した新たな取り組みで、廃止した投票所の地域11か所を巡回し、対象者153人中68人の利用がありました。公職選挙法の改正により共通投票所や商業施設、大学等への期日前投票所の設置など投票機会の拡大に向けた選択肢が増

えてきていますので、今回の事例については、今後の取り組みの参考にします。

質問…期日前投票所の増設について伺いたい。

答弁…来年度執行予定の大田原市長選挙より新たに設置するための予算措置を行い、現在調整を進めています。

質問…投票日の投票時間の短縮について伺いたい。

答弁…投票時間の短縮は、投票立会人、選挙事務従事者等の負担軽減や人件費の経費削減につながることや開票結果を早くお知らせできるメリットがありますが、選挙人の投票に支障を来さない特別な事情があるかが課題です。今後の県内各市町の動向や、既に実施している自治体の投票率に与える影響等の情報を参考に、慎重に判断します。